

子どもたちの夢を育む 2学期制

～アンケート結果をお知らせします～



蒲郡市では、子どもたちの「生きる力」の育成をより推進するため、平成16年4月から2学期制を導入し、まもなく2年が経過しようとしています。導入後も、子どもたちが2学期制のメリットを生かしつつ学習活動に取り組めるよう、2学期制推進委員会で検討を重ねています。

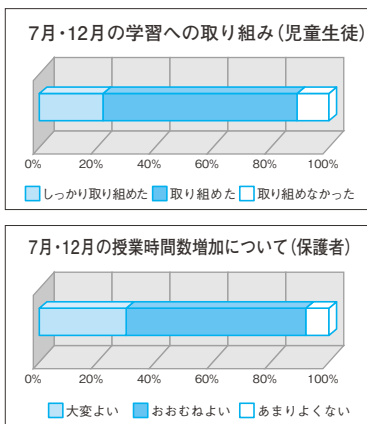
この取り組みの一環として、本年度も「2学期制アンケート」を実施しました。今号では、その主な内容と結果をお知らせします。



学校教育課 ☎66・1165

長期休業中の学習活動

2学期制によって、夏休みや冬休みなどの長期休業を活用した長い学習単元を展開できるようになりました。また、昨年と今年の調



特に、7月と12月に授業時間数が増えました。保護者の大半の方が、これをよい方向だと考えています。そして、子どもたちはこの期間、授業にじっくりと取り組みたいようです。子どもたちの確かな学力と生きる力を育てるために、授業時間の確保は大変重要なことだと考えています。

授業時間数の増加

アンケート回答数

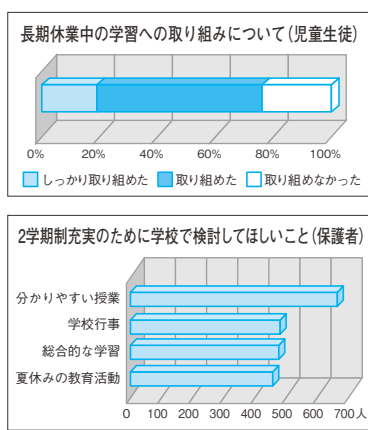
○市内全教職員	379人
○市内全小中学校 抽出児童生徒	千449人
○その保護者	千306人

查の中でも、保護者が検討してほしいと思うことの上位に「夏休みの教育活動の充実」とあります。

このようなニーズを受け、各学校では夏休みを活用した学習活動の充実に向けて取り組んでいます。

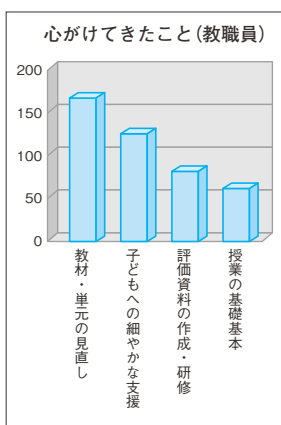
秋休みの日程

前期と後期の区切りをつけ、後期への確かな目標をもつために設定された秋休み。昨年の調査では、「5日間では気持ちの切り替えができない」などの考えから、「よい」「ふつう」と答えた保護者の方が約57%でした。しかし、今回の調査では、保護者・児童生徒の77%から「現行の日程でよい」という回答をいただき、休みの設定や日程について、理解が広がっていると考えます。今後当面、この日程ですすめていきたいと考えます。



教職員の取り組み

保護者の方々が検討してほしいと思っっている「分かりやすい授業づくり」「総合的な学習の時間」などについて、学校では、「教材や単元の見直し」「子どもへの細やかな支援」を軸に、授業と評価の充実に心がけています。



今回の結果から、2学期制は定着しつつあり、保護者の皆さんの理解を広げ、着実に子どもたちの学習への効果を高いものにしていくと考えられます。また、最近では、この2学期制のメリットに注目し、県内の多くの市町村も導入・検討にはいっています。

今回、皆さんからいただいたご意見・検討事項などを考慮しながら、他市町村と情報交換などをし、今後もよりよい学校教育を進めてまいります。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。